

平成29年度 史跡加曾利貝塚整備活用事業（案）

(単位:千円)

事業内訳		予算額	事業内容等
特別史跡指定推進費（A）	シンポジウム(市内)	6,000	一般市民向けに、加曾利貝塚の価値を知らせるためのシンポジウムを市内で実施する。 国の補助事業のため、シンポジウムの構成は国との調整が必要。 会場周辺で、イベント等を併せて行う予定。
	加曾利貝塚グランドデザイン策定	10,350	資料4参照
	史跡整備	史跡整備基本計画策定	短期的な史跡内整備のための基本計画。計画期間は概ね5年程度。 対象は、復原住居エリアや体験学習エリア(現博物館周辺)、管理用道路のあり方、トイレと便益施設とする。 グランドデザインを策定するとしても必ず取り入れられる部分に限定して整備する。
			博物館の移転と今後の発掘に備え、現在収蔵庫で保管している資料を幸町第一小学校(廃校)に運搬する。 運搬に伴う整理作業の入件費を含む。
		史跡境界確定	6,000 今後の史跡指定地の管理と整備のため、境界を確定させる。
	合併浄化槽改修	2,000	耐用年数を大きく超過しているため、来館者の急増に備え改修を行う。
	臨時駐車場借上げ等	4,400	来館者の増加を見込み、駐車場用地(約1,600m ²)を通年で借上げる。 乗用車10台と大型バス5台分のスペースを新たに確保する。
	博物館移転候補地の土壤等調査	3,000	候補地の一つである旧小倉浄化センター跡地の土壤調査を行う。
		31,400	
	発掘調査	6,650	発掘計画を策定し、文化庁の許可を得て秋ごろから着手する。 平成30年度以降も毎年2~3ヶ月ほど継続的に実施する。 分析委託等 4,150千円 機材賃借料等 2,500千円
博物館の管理運営費（B）	発掘現地見学会	2,000	現地見学会および定期的な説明会を開催する。。 出土した遺物の水洗・分類等の整理作業を公開する。
	縄文貝塚研究	27,153	発掘調査の入件費(作業員含む) 20,653千円 調査計画策定のレーザー調査と地中レーダー探査 6,500千円
		94,241	
	施設維持管理	23,128	警備・清掃業務委託、草刈業務委託、樹木伐採業務委託、電気・水道料金等。
	集客事業委託(キャンペーン含む)	6,000	増加する来館者のための体験メニューの拡充する(新規の内容企画と対応も含めた委託)。 その他史跡内外でのキャンペーンを含む集客事業の委託。
	教育普及事業	707	体験講座の開催、リーフレット印刷等。
	展示事業	396	ミニ企画展の開催に関するもの(パネル制作委託や運搬等)。
	縄文文化調査研究	4,806	嘱託入件費(縄文土器研究員)、補助員入件費(4名)、研究紀要刊行(800部)等。
		29,037	
合 計 (A+B)		123,278	